

# 令和五年度 新規採用予定職員研修会

## 東部支部

月 日 令和六年二月二十七、二十八日

会 場 三島市箱根の里少年自然の家

参加者 二九名

令和五年度の新規採用予定職員研修会はコロナ禍後初の宿泊研修にて一泊二日の日程で行いました。

開会式の後、班毎で役割分担を決めました。その後、野外活動として、「戸外で楽しみ感性を育てよう」ということで、実行委員が中心となって各班ごとに炊事場での飯盒炊飯を行いました。小刀を使い箸を作る人、火を起こす人、カレーの下ごしらえをする人、それぞれの係に分かれ、力を合わせて行いました。各々が協力し合い、班全体でひとつのことを行うことで、研修生同士のコミュニケーションやチームワークを深めることができました。

一日目の午後の講義は「社会人として一番大切なこと」～人間関係と服務接遇～と題してアップハート代表勝又ひで子先生より接遇とマナーの基本を教えてくださいました。夕食の後、班交流として「現場からのアドバイス」ということでグループディスカッションを行いました。これから社会人として就

職する研修生たちからは様々な意見や質問が出されました。実行委員グループもあり、研修生たちの様々な意見や実行委員の先生たちならではの意見も出され、大いに盛り上がり、コミュニケーションを深めることができました。

二日目の午前の講義は「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」～最近のネット・ケータイ・スマホ～と題し、NPO法人浜松こどもとメディアリテラシー研究所代表長澤弘子先生よりお話をいただきました。SNSを利用する時の便利な点や注意点、想像を膨らませ、勢いだけでは決しないこと、社会人として責任ある立場になるということをわかりやすく教えていただきました。

午後の講義では「保育園・こども園にとって一番大切なこと」～保育所・認定こども園の使命と役割～を静岡県保育連合会会長土山雅之先生より、次に、「あなたにとって一番大切なこと」～保育者の使命と役割～を静岡県保育士会会長吉川慶子先生よりお話ししていただきました。保育園、そしてこども園、さらに保育者の使命と役割、施設職員としての基礎知識を教えてくださいました。

コロナ禍で過ごしてきた数年間、園や学校では様々な生活の変化がありました。人と人とのコミュニケーションがとりづらかった部分もある中で、今回の宿泊研修ができたこと

は、研修生、実行委員も含めた中で意義のある研修になったのではないかと思います。保育園・こども園の職員になるということの心構えや知識を身に着ける研修であるとともに同じ保育に携わる仕事に就く仲間として共に研鑽を積んでいくことができればと思います。実行委員長として大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



実行委員長 恵明キッズサクラビレッジ

杉村太陽

## 中部支部

月日 令和六年二月十四日～十五日

会場 焼津青少年の家  
参加者 七十名

今年度も焼津青少年の家にて、一泊二日の日程での研修を行うことができました。

焼津駅に集まった研修生達は少し緊張した面持ちでしたが、挨拶も初々しくバスに乗り込みました。焼津青少年の家に着くと直ぐに入所式です。県保連中部支部長の北山茂氏の「元氣ですか!？」から始まり青少年の家所員さんからのオリエンテーション、研修生決意表明へと続いていきました。

予定が変更となり、講義二の県保育士会会長 吉川慶子氏からの講義になりました。一〇時二〇分から「保育者としての役割」というテーマで保育者としての服務規律や危機管理意識、子どもの権利条約等について講義して頂きました。

引続き十一時十五分より県保育連会会長の土山雅之氏より講義「保育所・こども園等の使命と役割」というテーマで保育所の法的な位置づけ、社会的な使命について講義して頂きました。

講義を聞いている間もそうですがこの研修の間研修生は班別に行動しています。昼食も食堂で班別に頂き、片付けまで行います。

昼食後の小休止の後、一三時より午後の講

義が始まり、明星保育園の櫻井英世先生の手遊び・歌遊びの実技指導が行われ、現場ですぐに使える手遊びやグループに分かれての体を動かした遊びに取り組み、研修生たちは笑顔いっぱいでした。

実技指導後、以前この研修に参加し現在、就職三年目、焼津市さくら保育園の村松叶海さんと就職四年目、有度十七夜山保育園の内田沙英さんお二人に新米保育士から今までの体験談や思いを聞かせて頂きました。

この後、例年全員でチャレンジラリーを行います。今年度から一から五班と六から一〇班に分かれ二部制で行うことにしました。片方が野外（雨天は体育館）でチャレンジラリーを行っている間、もう片方は室内で「現場からのアドバイス」を行うことにしました。チャレンジラリーは各班六つのゲームを速さと正確性を両立し時間内にクリアしながら合計得点を競い合います。現場からのアドバイスは生活指導係（実行委員の園長・主任）が各班に付き講義を聞



いて思ったこと・現場に入る前に不安に思っていること云々を一緒に話し丁寧なアドバイスをして頂きました。二部制で行ったおかげで夕食後の入浴や反省会議等がゆとりを持って行うことが出来ました。

二日目は、七時一〇分からの朝のつどい（各班スピーチやラジオ体操）を行い。朝食、記念写真撮影を行いました。

九時より講義三の「子どもと絵本」というテーマで駿河こどものとも社高林快晴氏より絵本の楽しみ方を話して頂きました。

昼食、部屋の片づけの後、講義四は一三時より土方良子氏より「保育者としてのあり方」～服務接遇～についてお話を頂きました。研修生一人ひとりが自信を持って現場に出ている指導を頂けたと思います。

閉講式では県保連中部支部長の北山茂氏より研修生へのエールが送られました。バスで帰っていく研修生との別れが少し寂しく感じました。

終わりに、講師の先生方や実行委員の皆様



## 西部支部

月 日 令和六年二月二十一日～二十二日  
場 所 三ヶ日青年の家  
参加者 九十四名

三ヶ日青年の家にて一泊二日の日程で開催となりました。

講義Ⅰでは静岡県保育士会の野中徹副会長より「保育者としての自覚と責務」というテーマで講義をして頂きました。子どもの育ちを支えるために、保育者の質と保育者自身の人間性の大切さについてご講義頂きました。「倫理観や人間性を高める方法」として大谷翔平選手が高校生時代に使った目標達成シート（マンダラシート）を例に出し、保育者が専門性を発揮するためには、いかに人間性を高められるかが重要であることを学びました。

講義Ⅱでは静岡県保育連合会の土山雅之会長より「保育所・認定こども園の役割と使命」というテーマで講義を頂きました。急激に進む少子化に伴う定員割れ問題や「誰でも通園制度」などの保育情勢についてわかりやすく解説して頂きました。

に協力いただいたおかげで新規採用予定者研修会が今年度も無事に終了できましたことを感謝申し上げます。  
副委員長 有度十七夜山保育園 笠井友泰

また、講義の中ではスキップの重要性に触れ、「新しい生活様式」の中でも子どもの成長発達にスキップは必要不可欠であることを改めて学ぶ機会となりました。

午後は恒例となっている施設周辺のウォークラリーを行う予定でしたが、天候不良により室内でグループワークを行いました。これまでの新規採用予定職員研修会では室内でグループ活動を実施した実績が無く、研修のねらいでもある受講生同士の親睦を図ることができるか心配はありましたが、ゲームや課題をクリアしていく過程で受講生同士が十分に親睦を図ることができました。

夜には講義Ⅲとして「子どもと絵本をひらくとき」をテーマに浜松こどものとも社安田友昭氏より講義をして頂きました。具体的な絵本の選び方や活用方法を学びました。

また、絵本を繰り返し楽しむことで得た絵本の世界での体験が子ども自身の経験となることを学びました。

二日目午前の「現場からのアドバイス」では各班に分かれ、保育者として働くにあたり感じている心配や不安を相談し、より実践を踏まえた意見交換から四月から勤務する準備が整えられたのではないかなと思います。

講義Ⅳでは「社会人として一番大切なこと」

「人間関係と含む接遇」というテーマで（有）アップハートの勝又ひでこ氏より講義を頂きました。社会人としての基本的なマナーは保育者としての信頼へと繋がることを学びました。

講義Ⅴでは「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性」をテーマに浜松子どもとメディアリテラシー研究所の長澤弘子氏に講義を頂きました。社会人として園に所属している背景を自覚しSNSによる発信の必要性や利用については想像力を働かせることが大切だと学びました。

天候不良で本来予定していた講義内容を変更することになり運営が難しい点がありましたが、皆様方のご協力により無事研修会を終えたことに感謝申し上げます。

実行委員長 豊田みなみ保育園 宮城翔太

